

第2回大幡作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月17日 14時～15時30分

開催場所: 大幡コミュニティセンター 集会室

参加者

グループ	1	2	3	4
人数	3名	3名	2名	2名

- あいさつ、アイスブレイク
事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。
その後、第1回と同じ3つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。
- グループワーク①
第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。
- グループワーク②
再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。
- まとめ
つながり、支え合いのあるまち: このテーマに関するグループ発表では、世代間交流ができる場所の創出が重要であると述べました。特に子育て世代や高齢者が孤立しないための相談場所の確保や、増加する外国人住民が住みやすく、地域住民と積極的に交流できる環境づくりを提言しました。
- 安心・安全のあるまち: このテーマでは、子供が安全に生活できる環境、防災訓練を含む災害への備え、高齢者に限定しない困りごとの相談体制、通学路を中心とした道路や歩道の整備、そして交通事故のない地域づくりの5点を課題として挙げました。
- 暮らしを支えるサービスが充実したまち: このグループは、買い物環境の改善、移動手段の確保、民生委員による見守り活動、子供食堂を含む子供の居場所づくり、医療機関の拡充、およびインフラ整備という6つの柱を提示しました。
- 地域が元気になるまち: このテーマでは、乗合タクシーやコミュニティバスなどの公共交通手段の確保、子供向けのスポーツイベントの開催、そして遊休農地の活用による若者の定住促進と経済的循環を生む地域活性化の3点を提案しました。

